夕刊
磐城新聞
七月二日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金（普通欄 金六拾錢 特報欄 金九拾錢）五號十二字詰一行一回（場所指定一行二割增）
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合名會社
（日曜祭日翌日休刊）

健康と精神

松本玲一

『健全なる身体に健全なる精神宿る』銘記すべき金言ではある。

我々は肉体と、それから精神とを以て働き勉強する人間は頭脳が極度に發達した動物で、理性に從つて活動し、自然界の理を究明し物質文明を建設し、復雜な社會組織を構成する。精神を有しない人をロボツトと云ひ、之では人間も精密機械に等しく、自動的に何事をも建設し得ないだらう。更に健全なる人々の集團が健全なる社會を組織する。

健全なる人は心自ら快活に、反對に健全な心を以て活動すれば身体も自ら壯健に向ふ、努めて浩然の氣を養ひ、公明正大の心を以て活動すれば、時代不相應の惡い事等は爲すべくして爲されない。人間の活動の中にも適者生存優勝劣敗弱肉強食の生物界の原理の存するを見出され、生存競爭の激甚、失業者の洪水、金融流通の圓滿を欠く等の爲に起る生活の不安定、其處に種々様々な罪悪が構成せられる、社會の組織、それから自然の法則とは極めて難解にして我々と物体は往々進むべき力の方向に迷ひ煩悶する。

心美しければ其の行動にも自ら麗光を放ち、社會を益し萬人を愉快にする最大多數の最大幸福に眞理である。光明を與へて世の中を明るくする、獄舍の生活をしてゐる人に壁の一角が破れて日光の洩れ來たる時の様に、之程尊い人生は無からう、美しい心は美しい行爲になつて現はれ、反對に美しい環境に活動し生育する者は心も美しくなる。作用あれば必ず反作用あり動あれば反動ある物理學の原則に支配せらるる事に注意しなければならない。それから美しい風景を好み、美しい藝術作品や美しい花等を觀賞し愛玩する、斯くて人格を陶冶し、美しき家庭や美しき社會を建設する樂しい心で働くと疲勞を感じない。憂欝は病氣を造り出す。

人間は活動するのが本來の性質で、活動の中止は退化の原因を爲す、身体的に社會的に退歩する。適度の活動は心身を益々發達させしかも模範的社會を建設する、活動するのが人生の意義を爲す所以であり、活動の最も旺盛な人が富を造り戰ひに勝つ、休養慰安は活動せんが爲の休養と解するのが正しい。自分の仕事そのものに興味を覺え能率を上げ得る人は幸福である。愉快に活動し乍ら自分も發展し社會をも發展させる。

我々は出來るだけ働き又社會は何んなにでも働く事を要求し、働くべき餘地がある。世界は廣く宇宙は無限と考へられる。眞理の世界は永遠の建設であらう。

我々の身体は外部より食物を採つてエネルギーを吸收し、熱や力として外界に放出する處の極めて複雜な精密な機械で、造物主の造つた萬物の中最高位に在り物理的に化學的に作用が適度に平衡を保つて運轉する生命とは極めて込み入つた物質の特殊な型の現はれに對する一個の名稱であると云ふ。其の運轉を司るのが精神である、空に聳ゆる摩天樓は腕に依つてのみ建設せられるものではなく我々の精神の然らしむる存在と云ふ事が出來やう。

潮聲硯靜抄帳（六月集）4

伊達靈山城跡
弘法の由來尊し岩清水
兄弟大學浴衣つけて居り　渡邊武門
開け放つ句作の部屋や風薫る
朗らかに口笛ふけり浴衣人

長女生る　安島孤舟
むつきくさま庵となりぬ五月雨
長梅雨や泣く兒抱へぬよこざまに
長梅雨や公吏の服のあかしみて

夏帶　金子石城
牡丹の墨繪涼しき單帶
遠山に白雲の湧く五月かな
宵星のうつらうつら小田の蛙かな

高月會句抄（六月例會）四

田の畦に水掛け論や明け易き　耕影
夜泣き兒に母の添乳や明け易し　耕影
話し聲女工通れば明け易き　湖晴
井戸端の桶に雀や明け易き　天仙
短夜や友と語れば夜半の鐘　閑月
晝焚きし塵もえ切らず明け易き　閑月
短夜や雨漏る宿の貰ひ風呂　石水
短夜や洗ふ暇なき旅衣　石水
短夜に伏すや夢野の曉の鐘　石水

時代警語

○惻隱の心無き人は非ず…………（孟子）

修養あるものは自家の悲みに泣かかざれども他の悲みに泣くものである、他の悲みに泣かずとも他の好意には泣くべし、泣かざるものは人でないのである…………

7.3

△幕府奥醫の和蘭學術兼學を許す（安政五）△始めて京濱間

社會の今日

郵便開始（明治四）△法制局設置（同八）△六年度歳出豫算節約總額決定、五千四百四十餘萬圓（昭和六）

○

築地川水に映れる夜の灯を茶屋の二階に君とながむる　吉井勇

一色の青き光りや炎天のしづかさ保つ若桐の畑　川崎杜外

植田から

樋田生

古川前縣議を訪ふ。最近の氏に接して先づ直感される事は彼の鮫川疏水問題からの重荷をやつと卸したと云ふやうな、鮮かな面地が見られる事である。そして前縣議は極めて愉快氣に記者に係ふ語つた『どうしても、ここを中心にして働く公人的新聞記者が必要だと思ふ。新聞は社會の公器だから、正しき心を以て正しき批判を下すことが必要である。そして其の信條を以て極めて地味に進んで行つたら長い間には、それが解つて來るやうになるであらう』と、記者は成程とうなづかれた、そしてそれは新らしい人の口からでなければ聞かれない御説のやうにも思はれた。正しき心を持つて正しき途を歩んだ者は遂に正しき途に行詰つて亡んでは行つた。だが而しそれは時を考慮の内に入れて見なければ解つたものではないからである。氏が言はれる長い間とは、要するに其の時を指したのであると思ふ、時こそは總てを解決して呉れるものであつた。卽ち時が絶へず無心の裡に人間に働き掛けてゐるあの大きな力をして氏は餘りにも良く知り切つて居られるのである。今度疏水復活に向つても氏は文字通り寢食を忘れ、而も幾多の私財を投じて二町五ヶ村農民の爲めに健闘されたあの努力の跡を見る時、それは農民に對しての愛の一字に燃えて居た事が解つて來る。そして其の愛の力こそは釋迦やクリストが衆へ注いだ愛の力と變りがあらう筈はない氏は又今日の疏水復活到來の期を完全に豫見して居た事であつたらうと思ふ。それは他人を知るには先づ自己を知らねばならぬと誰かゞ言つてゐるのと同じ理論から、事業の前途を豫見するのには先づ事業自體の内部の眞相をして充分に究めなければならなかつた。此の意味から氏は先づ該問題の研究に寢食を忘れたのである、係ふして氏は二町五ヶ村農民からは永劫に慈父の如く慕はれる事になるであらう。そして其の誇りを語る氏の銅像は、適當の地に建てられるのも蓋し遠き將來ではあるまい、記者は氏の銅像に向つて誠心から合掌し得られるの日の早やからん事を祈つて熄まない。

講談 お蘭陀お蝶 (71)

渡邊默禪作　布施長春畵

『やつ』

かけ聲と諸共に振り上ぐる尖先から血潮と思ひきや

吹雪一陣、落花の如く凉然として過ぎ飛んだ。

颯と斬りはらはれたのは頭上の松ヶ枝雪を煽つてドッと横ざまに落ちた

是れはとばかり門弟十人愕いて目を睜はる

『ウフ……我ながら天晴れな手の中美事成敗をいたした、コレ平山柳の死骸を取り片付けい』

『先生、何と御意ある片付けと仰せられた其の死骸はど、何處に何座るか、柳の首は猶且胴に着いて居りまするがな』

平山は眼をきよろつかせて呆れてゐる、大方先生發狂したのだらうと思つて

『其處にあるのが解らぬかソレ貴公の足下に落ちてある松の枝ぢや』

大鹽は微笑しつつ刀を鞘にぴつたりと收めた

『エッ？此の松の枝が御成敗の身代り？是ははや驚き入りました。そりや又どどういふ謎で？』

平山は怪体らしう、肩を聳かして詰め寄つた。

『聞け、いづれも』

大鹽は朗かな聲を振り立てた

『歳寒うして後、松柏凋む古來松の色變へぬ操を君子の節を守り徳を改めざるに喩へてあることは方々御承知でござらう、白樂天の松の詩に、買はざるは他の意にあらず城中栽るに地なしとあつて松の如き清標孤高の樹を、斬樣な汚れ果てた人間風塵の巷に植えるには餘りに勿體ないと、諷してゐるが、俺はこの句をかりて伐らざるは他の意にあらず、志堅うして刀を着け難し、と申したい、見らるる通りこの柳は取るに足らぬ一匹婦、と思ひの外天晴の女丈夫、己れの非を飾らず過ちを掩はず怨みを忍んで人と爭はず、柔順に罪に服したばかりか、白刀頭にのぞんでも更に取亂した體はなく、泰然自若として死を待つところ、イヤ見上げた者ぢや、此の中齊が平生お身共に說き聞かす、良知と至すの工夫は此處ぢや、心を大界の外に放ち凝然不動一に虛靈不昧の德を修むるとは此の婦人のことであるぞいづれも學んでよからう

意外の敎訓である、一同はハッと頭を下げた。

『取りも直さず松の貞潔にも比すべき精神個樣の烈婦にいかで刄を當てられようそれ聖人の法を行ふや、雷霆の草木に震ふが如し威怒甚だしと雖ども其の生を慾するに歸するといふ事がある、例令此の女が大事を立ち聞きいたしたからと申して恩に戾り義にそむき主人及び同志の者を賣つて密事を人に洩らす樣な尾陋な者ではないことは只今の振舞に依つて一同も御推察であらう、それを知りながら刄にかけるのは是れ不仁の甚だしき者、大鹽斷じて出來申さん、ちやに依つて昔の讓豫が仇の衣を刺した故事に倣ひ、心も色も同じ松が技をその身代りに斬つて落とした、末賴母しい奴、何か一箙の役にも立つであらう。コレ庄司氏、同志の中に差し加へて血判させられい』

『はッ』

庄司義左衛門にこ〳〵しながら連判狀を捧げて近くへ寄つて來た、雲行急變、妙な事になつた、思案の深い先生だけに初めからこうする了簡でわざと一芝居やつたのか、それとも實際お柳の神妙な仕打ちに感激して氣折れがしたのかと門弟共は、多少の疑惑を挾んだが、何にしても元旦早々から不祥の血を流さずに濟んだのは、此の上もなく目出度いことだと祝し合つた。

ラヂオ

……三日……〔日曜〕……

仙臺 JOHK

△前九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇A 榮養料理（野菜の味噌煮）榮養研究所
△九、三〇（子供の時間）童話（雲の飛行少年）深瀨蕭
△一〇、〇〇F 宗教講話（道德的修養と宗教的信仰）廣島文理科教授福島政雄
△一〇、四〇A 講演（現代シャムを觀る）伯爵二荒芳德
△一一、一〇A 謠曲講座（謠の道しるべ）實演…觀世左近 解說…池田信嘉
△正午A 時報 氣象
△後〇、三〇A ニュース
△〇、五〇A 狂言 野村萬齊外
△一、二五 脚本朗讀（劇詩カルメン）出演…仙臺詩話會
△二、〇〇 人情噺（穴どろ）柳亭燕三郎
△二、三〇A 浪花節（水戸黃門と孝子幸助）玉川勝太郎
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇 ニュース
△六、〇〇 運動座談會 出席者…宮城縣体育主事佐藤義江 福島縣同高田彥二郎 山形縣同佐竹信夫 岩手縣同近藤賴一 秋田縣同千田三省 青森縣同對馬助五郎
△六、三〇 趣味講演（陸前牡鹿半島の契約講）中道等
△七、〇〇A ニュース 生繭相場
△七、三〇A 獨唱とピアノ獨奏 荻野綾子
△八、〇〇A 歌澤 一、末廣 二、のぼり下り 歌澤芝金
△八、一〇A 放送舞臺劇（蕭樹累物語）
△九、三〇A 時報 ニュース 氣象 生繭

ビクターレコード演奏會 今夜聚樂館で

平町ビクターレコード特約店天地堂、三光堂、金光堂主催のレコード演奏會は今二日午後六時半から聚樂館に於て開催するがプログラム次の如し

（プログラム）一、演奏管絃樂—軍艦行進曲 二、同ソプラノ獨唱—ありあけ（關屋敏子）三、舞踊—梅は咲いたかさみだれ（藝妓數名）四、演奏童謠—赤い靴（本多信子）五、舞踊—深川（藝妓數名）六、演奏流行唄—あの屋根越えて（藤田正夫）七、同流行唄—女給君代の唄（小松君子）八、同テノール獨唱—泊り舟（藤原義江）九、舞踊—京の四季香に迷ふ（藝妓數名）十、演奏流行唄—天國に結ぶ戀（德山璉、四家文子）十一、同端唄—柳の雨（葭町勝太郎）十二、同浪花節—上海事變銃後の美談（壽々木光若）十三、舞踊—磯節、安來節、小原節（藝妓數名）十四、演奏浪花節—滿洲嵐（木村友衞）十五、同流行唄—銀座三銃士の唄（德山璉）十六舞踊ジャズ—銀座の柳、東京戀し 十七、演奏管絃樂—ドイツ當てものレコード（EG『西西』）十八同浪花節—肉彈三勇士（三代目奈良丸）十九、同流行唄—馬と女房、新祇園小唄（四家文子、藤本二三吉）二〇、舞踊ジャズ—夜の酒場、悲しみの天使 二一、演奏軍歌（皇軍の唄）東京海軍軍樂隊 ◎餘興—藝妓手踊り若連民謠（ダンスの實演）

廣告

◎キツト安イ店
時計！ユビワ！蓄音機！メガネ！

蓄音器祭
ビクター コロンビヤ 特約店
鐵道省御用達 金光堂時計店
平 電一九五

平町田町
高久病院（電話五一三番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

內臟外科 一般外科 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院（電話四七五番）

胃腸病の藥の王座を占むる純漢法藥
松前家傳 靈効散 無効返金
ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市で製藥したので兎角の批評ありましたが今度のものは眞正のもので奏効確なものです服用しなくては其の眞價が判りませんから皆樣へ見本を差上ます。御遠慮なくいらして下さい！。見本品でも二日間飲まれますから輕い病氣なら治つてしまひます。小兒用の靈効散も出來ました。胃腸病に苦しむ方、腦病、心臟病、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。
定價……試用分八日分 五十錢｜輕症用廿日分 壹圓｜重症用四十五日分 貳圓
靈効散賣販部 地方代理店 平町古鍛治町（縣社の下）
阿康藥舖（電話四四番）

うなぎ丼 二十五錢
大蒲燒 四十錢
やな川 十五錢
右之通り特に勉强致し上品用ひ仕出候間御試食の程御願申上候
此他ヒラキうなぎ（百匁 四十錢 三十錢）
相馬屋
四丁目川岸通り（電話二六二番）

季節御料理
柳川 一人前 金二十五錢
うな丼 金三十五錢
蒲燒 金五十錢 金五十錢
大蒲燒 鳥料理 壽司 折詰
右大々勉强出前迅速
仕出し部
田町 魚榮
電話四二四番

うなぎの御用は江戸川へ
弊店特長は味はひ專一
出前迅速
うなぎ料理專門
平館前通り 江戸川うなぎ食堂
電話新設 電話五四七番

耳、鼻、咽喉科 氣管食道科 專門
平町南町（電一〇七番）
大和田醫院
大和田郡司
（自炊の便あり）

磐中、平商、第一、三球場で 強豪十六チームの爭覇

明日曜全日本軟式野球豫選

時事新報主催全日本軟式野球大會平支部豫選會出場チームの組合せは昨一日のキヤプテン會で左の如く決定　明三日午前八時から第一校庭で會長會我直治氏の開辟及び始球式に始まり第一、平商、磐中の三球場で猛烈なる爭覇戰を演ずる筈であるが之の分ではと今から天候を氣遣はれて居る、尚決勝戰は十日午前八時からで昨年の優勝チーム涌井組を始め入山、磐炭、勿來、四倉の強豪組が優勝候補として必勝を期して居る

入　山―涌井(磐中八時)
古　河―遞　友(十時)
勿　來―發電所(三時)
好　間―湯本(第一八時)
運　輪―四　倉(一時)
平　鐵―菊　田(三時)
隅田川―浪江(商業十時)
內　郷―胡摩澤(一時)

一回戰五回ゲーム、二回戰七回ゲーム、決勝戰九回ゲーム

(菊田) 山野邊　渡邊　香取　片岡　長谷川　赤津　金成　小野　赤津(四)　上遠野
(運輪) 鈴木　磯野　二瓶　堀內　淸野　佐々木　安川　中澤　岩佐　松村
(好間) 叶多　大河原　鈴木　稻葉　佐藤　高木　鈴木(弘)　志賀　安齋　輪遊
(平鐵) 荒川　山田　田正　水野　佐藤　荒川(淸)　橋　吉田　齋藤　柴田
(勿來) 鈴木　笹沼　吉田　小澤　鈴木　金原　萬崎　橋本　金子　櫛田
(胡摩澤) 高木　佐藤　鈴木　伊藤　伊藤(好)　伊藤(勇)　佐藤(寬)　鈴木(勇)　白土　吉田
(浪江) 百足　神戶　新妻　唯野　新妻(勳)　光家　光家(定)　鈴木　村山　山田
(入山) 上面　金士　佐分利　坂本　鈴木　國井　高木　佐藤　大越(準)　大越
(古河) 下坂　渡邊　山口　鈴木　角田　井上　杣木　大槻　齋藤　榎田
(發電所) 高橋　宇佐美　馬目　馬目(唯)　大河原　根本　鹽田　佐藤　伊藤　酒井
(隅田川) 只野　渡邊　山口　吉田　小野　中野　渡邊　田邊　平山　渡邊(三)
(涌井) 森田　涌井　結城　涌井(武)　設樂　大塚　櫻村　岩崎　大和田　涌井(智)
(湯本) 鈴木　布谷　鈴木(勇)　大平　齊藤　大平(迺)　比佐　志賀　丹野　鈴木(勇)
(內郷) 沼田　大橋　西田　志賀　伊藤　草野　安藤　松崎　櫻井　笠木
(四倉) 鈴木　片葉　吉田　武藤　小林　田中　渡邊　豐田　佐々間　宮內
(遞友) 伊藤　小野　甲田部　草野　櫻田　渡邊　木村　油井　佐藤　小林
投　捕　一　二　三　遊　左　中　右　監

。。。。藥業組合發會。。。。

植田署管內藥業者組合支部發會式は五日同署內に開き役員選擧其他諸般の事項を協議する

架設費が安いから 加入して欲しい

平局長から電話勸誘

平局に於ける本年度電話架設申請受付は既報の如く來十一日より卅日迄取扱ふが今年の架設費は昨年に比し約半値であり豫約者も今から二三名あるので當局も此際大馬力を掛け勸誘すべく此程戶石局長の名で各方面に左の如き意味の勸誘書を出した

從來電話の加入に付ては財政の關係に尠からざる設備費用を要したので一般的に普及せられなく當平局に於ても現在の電話加入者は六百八十名で戶數百戶に對し加入者十四戶の割合に過ぎない狀況である、就ては今般遞信省で一般的現狀に鑑み設備費を大輕減され平局では前年の四百圓が二百四十圓にも低減された次第で加入希望者の大福音と信せられるから此際是非加入せられたい』

青物夜店市 愈々もつれる

組合では納稅せぬ決議

平果實青物商組合では既報の如く平窪、神谷農會の夏季夜店進出に就て極力阻止運動をなし町當局としても

それが對策を講じてゐるが一方平窪農會ではそんな事にはお構へなく愈々五日から九月末迄平驛前農業倉庫前に例年通り夜店を開設する事に決したので同組合では平町に對し營業稅を收めぬ決議をなし搦手から町當局を動かして目的の貫徹を期すべく組合員の調印を取纏め中で向後の成行を憂慮されて居る

滿洲行

藤田中尉 —(第十七信)—

訓示

◇本日當奉天に於て帝國在鄕軍人會各地團体代表者諸君及び有志會員諸君會同の下に全國大會を舉行するに當りまして　總裁殿下の令旨を拜し洵に感激の至りに堪へません、吾々會員は誓つて之が服膺を期せなければなりませぬ、私は此の機會に於て聊か所懷を開陳して諸君の奮闘を望まんとするのであります、

◇諸君は平素　良兵良民として範を鄕黨に垂れ崇高なる犧牲的奉公の精神を以て本會の會是を體し本會をして今日の隆盛を致せしめられたのであります。就中昨年夏以來國防問題と支那問題とを提げて蹶起奮闘せられ滿洲事變勃發するや率先國論の喚起統一に努力し或は動員業務を幫助して官憲に協力し、或は出動將兵及其の遺家族の

◇慰安救護に　努めらるる等舉國一致の中心を形ち作られ其の効果の大に見るべきものあつた事に就ては其の勞を多とするのであります、殊に在滿在支の會員諸君は動亂の渦中に在りて直接間接に軍務を助け一身一家を顧みず、克く會員の眞面目を發揮せられ、顯著なる貢獻をせられました事に就ては茲に更めて感謝の意を表し、死傷者各位に對しては滿腔の敬意と同情とを捧ぐるのであります

◇今や滿蒙の　地は皇軍の活動と在滿人士の協力とに依りまして新國家の成立を見、其の光明燦然として步途の希望洋々たるものがありますが國際の關係は決して樂觀を許さざるのみならず、益々錯綜して時局の將來豫測すべからざるものがあります、吾々は滿蒙に關する限り如何なる難關に遭遇するも屈せず飽迄正義の旗を押立て勇往邁進せねばならない、若し此の際に於て帝國々民の

◇心境に聊か　たりとも弛緩を生ずるが如き事があつたならば過去の努力を水泡に歸せしめ、暗雲再び東洋の天地を覆ふに至るや必然であります。熟々過去を懷ひ又現狀を看更に想を帝國の將來に馳するとき吾々は滿蒙を開發して人類の幸福を增進すると共に國防の根本義に目覺めて以て東洋の平和を確立するの時機正に今日に在りと斷言するのであります

◇諸君は能く　此の狀勢に鑑みられ協力一致奮闘一番熱烈なる意氣と純正なる思想とを以て國難の打開、國運の進展に努力せられ以て上聖明に對し奉り下國民の期待に副ふ如くせられんこと切望に堪へない所であります。

昭和七年六月五日

帝國在鄕軍人會々長　鈴木莊六

昨夜の豪雨に 玉川方部蘇へる

雨量は七斗四合五勺

昨二日午前中から今曉にかけての豪雨に水不足に悲鳴を擧げてゐた小名濱、玉川方部は完全に救はれ農家は大喜びであるのに反し內鄕村御台境附近一帶は比較的低地の爲田畑は何れも冠水したので或は昨年の如き稻熱病黃斑性萎縮病が續出するではないかと早くも關係筋では憂慮してゐる因に雨量は坪當り七斗四合五勺でこれが爲め夏井川六尺五寸、好間川五尺八寸、新川四尺の何れも增水をなした

依然安値?

川前駒糶

悲觀されておる

既報―石城郡產馬組合の最終二歳駒糶川前馬市場は明後四日から三日間行はれるが最近の双葉郡川內村に於ける開市の結果が一頭平均三十五圓弱と云ふ依然安値にあるので川前市場の取引も極めて悲觀されてゐる

債權の整理から 登記件數激增

植田管內の半期統計

植田登記所に於ける本年上半期中の登記件數は總數一千四百八十件であるが其の內不動產の賣買が三分の一を占め抵當權設定雜種各五分の一と云ふ割合を示してゐる、而して賣買登記は既に抵當權設定濟みの賣買が其の大部分であり債權者が如何に整理を急ぎつゝあるかゞ窺はれると同時に債務者それ自体が金の捻出に行き詰つた結果と觀る事が出來る、尙は登記關係者は主として中產及びそれ以上の階級に多く中產以下は殆ど僅少である、因に同期中の登錄稅總額は四千餘圓であると

促成胡瓜栽培 意外の成功

植田農會のお自慢

植田町農會では最初の試みとして郡農會柴田技手指導の下に昨年十一月から今年三四月頃迄胡瓜促成栽培を行つたが栽培者五十七名枠數百個で一萬二千二百二十三本收穫當時出廻り前であつた爲珍重がられ値段も高價で取引され意外の大成功を收めたので明年は更に擴張して栽培をなす計劃であると

各炭礦操短

七月中の公休發表

常磐各炭鑛では不況による出炭の制限と採掘合理化から毎月の公休日を增加して支出の輕減を計りつゝあり古河炭礦では今月中八日間隅田川炭礦では十五日の何れも公休日を發表したが群小炭礦に至つては一ケ月中の勞働日數僅か十日位の處もあり坑夫連は悲鳴を擧げてゐる

。。。。。中堅青年夏期講習。。。。。

郡中堅青年の夏期講習は關本、勿來方面に於て行ふ事となり橋本園長は二日下檢分をなした

鮎解禁に惠まれた

—一日三圓からの收入

郡南鮫川沿岸の人々 ウソの樣な本當の話

—子供でさへも—

饑餓!赤字!疲弊!等々何れも悲觀すべき文字ばかりをながめる昨今に之はまた至極景氣の良い儲け話

鮫川沿線の川部、山田村では昨一日から開禁された鮎漁に下手な太公望ですら一日五十尾內外を釣獲現場で一尾六錢平均で飛ぶ樣に賣れ一人當り三圓近くの收入にありついてゐる爲農家は女子供まで釣に出かけ小學校は殆んど休校同樣である

凱旋兵歡迎

上小川。。在鄕軍人分會青年團主催で四日午後一時から小學校で開催

永戶。。十日午前十時から合戶小學校で

胡瓜に奇病發生

飯野村の農家に恐慌來

飯野村大字北白土方面の胡瓜に最近ブト病なる奇病發生し猛烈な勢ひで蔓延し成育した胡瓜が悉く腐敗して了ふのでさらでだに野菜安で恐慌つて居る折柄大恐慌を來し豫防撲滅に努めてゐる

失業者は多い

平職紹去月の成績

平職業紹介所去月中の成績は左の如く

求人男四一、女一二、求職男七七、女一一、就職男三八、女三

で之を昨年同期と比較すれば求人一名の增加に對し求職二十三名の激增を示し如何に失業者が多くなつて居るかを雄辯に物語つて居る

日用品物價

平町役場

調査今二日現在の町內日用品物價左の如し、

△白米一等一キロ一七〇二等一六五、三等一六〇△白麥七五、平麥一一〇△味噌並一貫匁五〇〇、△醬油一升三五〇、△淸酒一、〇〇〇△木炭一貫匁楢一七〇、楢割一四〇

雜木一六〇、△砂糖白一二〇、一〇〇△肉類豚上三〇〇、並一五〇、牛上四〇〇、並二五〇

伊藤芳吉翁(飯野村長嚴父)盛葬

飯野村長伊藤淺之助氏嚴父芳吉翁の葬儀は今二日午後三時自宅出棺寶國寺に於て執行したが鈴木、佐藤兩代議士、白井、安島、木村各元代議士、諸橋、山崎、金成植電社長、現前各縣議以下あらゆる方面を網羅した多數の會葬者及數多き花輪放鳥等の行列で地方近來の盛葬であつた、鈴木代議士朗讀の弔詞次の如し

弔詞

伊藤芳吉翁の靈に告ぐ翁資性温良恭儉篤農家として身を修め家を齊へ夙くして鄕黨の儀表たり後嗣淺之助君亦常に地力公共に盡瘁し內外の信望を一身に鍾む翁の家門頓に昌へ靄然たる團欒の裡に白雲去來の餘生を樂み百歲の壽尙ほ長しとせざるものありしに今や溘焉として逝く噫悲哉、然りと雖翁の餘德たるや後人崇敬の間に家礎彌々倍々固くて後事秋毫の憂ふべきなしまた以て泉下に意を安んじて可なり茲に謹て翁の冥福を禱り弔詞となす

昭和七年七月二日

衆議院議員　鈴木辰三郎

不埒な女房を戻すなら

—會社を罷めてからにせよ—

ヂレンマに泣く甘い坑夫

好間村上好間字小館古河炭礦坑夫長屋居住齋藤義道妻ヒデ(三二)は性來淫奔で本年一月中三人の子供と夫を置き去りに高橋文作と云ふ若い燕と駈落ちしたので夫が八方搜索中最近ヒデは高橋と別れ前非を悔いて元の鞘に納まり度い旨東京の寄寓先から便りがあつたので齋藤は早速引取らうとした所會社から一旦仇し男と駈落ちした女房を又ォメ〳〵入れる事は他の風紀取締り上面白くないから會社を罷めて貰ひ度いと警告されたので女房は可愛いが首になつては一大事と會社へお百度を踏んで其の邊大目に見て頂き度いと嘆願して居ると

神輿の衝突から 夏井村菅波藤間揉める

平署で萬一を警戒

夏井村大字菅波大國魂神社と同村大字藤間新山神社の祭典は何れも五月十五日であるが兩社の氏子は傳統的に犬猿の仲で祭典毎に衝突して問題を惹起し來つたが本年も御輿の揉み合ひから大喧嘩となり双方共御輿を破損し怪我人數名を出し爾來紛糾を續け大國魂神社側では去月二十七日氏子總代會を開き御輿破損代辨償、新山神社祭典日變更等の案件を提げて新山側に迫つたが之亦中々の鼻息で未だ解決を見るに至らず最近益々惡化せんとしつゝあるので平署で萬一を警戒中である

大飛躍

磐女排球部の 基本的講習を受く

磐女排球部では來る二十四日より六日間大日本排球協會理事星野隆英氏のコーチでバレーバスケツトの基本的講習を受ける事になつたが今秋の縣下女子中等學校排球大會に昨年の覇者福島高女を居るべく部員五十餘名は早くも意氣込んでゐる

忍び寄る

妻女一人と見て 四十男平署に檢束

平町月見町二五魚行商渡邊留五郎(四三)は昨一日午後九時頃泥醉して仲間町鐵道員坂本某方の留守宅の表錠を破り家內に侵入したのを就床中の妻サヨが驚いて平署へ訴出た爲に同署に檢擧され目下取調を受けて居る

電車で轢死

飛びおりそこねて

內郷村綴一之坪時計商竹內庄一郎(五三)は二日午前六時五十五分頃同村內町水之出地內で疾走中の磐炭電車から飛び降りそこね腰部を轢かれて卽死を遂げた

磐炭安全週間行事

昨一日からの第五回全國安全週間に就て磐城炭鑛々業所に於ては昨一日樂隊を先頭に全山を巡回宣傳し要所にポスターを貼つたが生憎雨天のため今二日から左記日程に依り宣傳映畫會を開催すると

二日午後七時內郷第三小學校庭、三日高坂グラウンド、四日綴山神社境內

。。。。祖國を守れのビラ。。。。

立憲養正會湯本支部では時局柄『國を思ふもの團結せよ!團結して我等の祖國日本を守れ!!!』と記した印刷物を全町各戶に配布した

夏井青年野犬狩り

夏井村に最近野犬が跋扈し去る二十五日矢部德次郎方で春雛六十羽が嚙み殺された外何れも尠からざる被害を蒙つてゐるので近く青年團員總出で野犬狩を行ふ事となつた

學校たより

磐城高女。。。では縣から達しにより明後四日全校生徒に蛔虫驅除藥(海人草)を服用させる

縣体育協會。。。郡支部役員會は二日午後一時から第一校に開催教員講習會、同競技會、第三區兒童競技會に就て打合せた

磐中野球部。。。名捕手四年佐藤勝義君は過般の對遞友戰に左足を骨折上田病院に入院治療中の處昨一日退院したが未だ登校出來ず縣下中等校野球大會には欠席すると

磐女籠球大會。。。は昨一日午後一時から行つたが左の戰績で三年生優勝

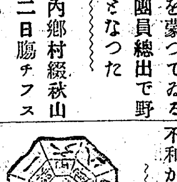
三年(二六―八)四年
同(二八―四)職員B
同(一六―一二)同A

磐女水泳講習。。。は來月一日から六日間久之濱影礎海岸に於て正木校長指導の下に行ふ事に決定した

家庭不和からカルモ自殺(未遂)

平町白銀町理髮業木村由三郎實母よね(七〇)は昨一日朝カルモチンを嚥下して苦悶中を家人が發見應急手當の結果一命は取り止めた、原因は家庭の不和から

。。。腸チフス　內郷村綴秋山キヨ(三〇)は昨二日腸チフスと決定隔離さる



舊五月三十日　日曜　乙丑　佛滅　危　房宿　七月三日

賭判定應需　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人　高遠なる理想も實行すれば期待に反くべし▲二黑の人　才力に任せて小細工すれば却て失敗ある日▲三碧の人　疲れを知らば一息入るるが安全我慢は失敗▲四綠の人　淺瀨を渡らんとして深味に陷る如き危險日▲五黃の人　實直に本業さへ守ればとがなし病厄盜難注意▲六白の人　浮華輕薄に流れず穩健篤實なれば吉となる▲七赤の人　空手能く大功を收むべき幸運日忍耐が專一▲八白の人　卽功は無くも將來の爲と奮勵するがよし▲九紫の人　運氣まうし分なく勉むれば努むる甲ひありて吉

內科、小兒科、花柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町　電話平長五〇七番

芳照院送葬の際は遠路態々御臨弔を辱ふし奉深謝候乍略儀以紙上御厚禮申述候

七月二日　飯野村　伊藤淺之助